

HSC015-09

会場:展示ホール7別室3

時間: 5月23日11:15-11:30

## e コミマップを使った防災マップづくり —愛知県田原市野田校区の事例—

### Disaster prevention map making using e-community map -case study in Noda school area-

須永 洋平<sup>1\*</sup>, 長坂 俊成<sup>1</sup>, 臼田 裕一郎<sup>1</sup>, 田口 仁<sup>1</sup>

Yohei Sunaga<sup>1\*</sup>, Toshinari Nagasaka<sup>1</sup>, Usuda Yuichiro<sup>1</sup>, Hitoshi Taguchi<sup>1</sup>

<sup>1</sup>独立行政法人防災科学技術研究所

<sup>1</sup>NIED

#### 1. はじめに

自主防災組織や避難所運営組織などによる自主防災活動が日本各地で行われており、その活動の一環として地域独自の防災マップを作成している地域も多く見受けられる。しかし、紙の地図上に地域独自の情報を記入して防災マップを作成する事例が多いため、更新作業に手間がかかる、各種行政や研究所が発信しているハザードマップなどとの比較が難しい、地域住民への配布が困難、などの課題がある。これらの課題を解決するため、筆者らはWeb-GISの機能を用いて地域独自の防災マップを作成できるシステム「e コミマップ」と、防災マップ作成に向けた活動プログラムを開発し、現在、実証実験を実施している。本発表では、実証実験の一地域である愛知県田原市野田校区での取り組みを概観し、一連の取り組みの成果と課題を示す。

#### 2. 田原市野田校区での実践

愛知県田原市は愛知県の南部、渥美半島に位置し、東海地震、東南海地震の震源域に非常に近く、また、台風による被害も多い地域である。野田校区は田原市の中央に位置し、903世帯3507人が住む地区(注)で、校区内には13の地区に分かれている。各地区で自主防災会が組織されており、2009年度の田原市の防災活動推進地区として指定されていた。防災マップづくりのために、各地区の自主防災会リーダーを対象に2時間4回、地元中学生対象に2時間3回、話し合いや作業の機会を設けた。2009年9月14日にマップづくりの実施方法について説明を行った。10月13日にマップに入力する項目(消火栓やブロック塀など)として、特に災害の種類を特定せずに災害時に役に立つもの、危険なもの、資源にも危険にもなるもの洗い出し、まちあるきの方法を説明した。合計55の項目が出されたが、自動車や携帯電話のように移動するもの、校区内の公設避難所が普段使われている名称で別々の項目(体育館、サンテドーム)で設定されており、災害時の用途別に項目出しをするのは困難であることが分かった。e コミマップへの入力自主防災会メンバーでは負担が大きいことを田原市役所職員が懸念し、地元中学生に協力を求めた結果、了解が得られ、11月10日にまちあるきの説明を中学生にも行った。11月中旬に地域別で、自主防災会メンバーまたは中学生と合同でまちあるきを行った。まちあるきの結果は12月1日に自主防災会メンバーが紙地図上で整理を行い、12月4日と11日に中学生がe コミマップに入力した。出来上がったマップは2010年1月27日に自主防災会メンバーにお渡しし、災害時の行動計画づくりの一つとして、推奨避難ルートの設定、人命救助の机上訓練を行った。

#### 3. 防災マップづくりによる成果と課題

田原市の地域防災計画では、野田校区に3か所の公設避難所が指定されているが、それぞれの避難所運営マニュアルには地域に1人しかいない校区リーダーが運営上役割を持っている。しか

も、そのリーダーは避難所から山一つ越えたところに在住しているため、災害時に避難所へ辿り着くことが困難であると考えられる。代理の設定が必要であることが避難ルートの検討を行った際に発見された。また、移住などによって地区の飛び地が多数あり、地区で把握している名簿では安否確認が行えず、安否確認用の名簿の作成や、地区境界の再編、または、地区間での情報伝達方法の確立などの対策が必要であることが、まちあるきの際に課題として出された。

商店やコンビニなどをマップに入力したが、防災に関する協力関係を事前に作ることで、災害時、効率的に機能する。協力関係が構築は課題であるが、一方、今回の取り組みによって地元中学校という、防災活動への関わりを普段は持たない主体を巻き込むことができ、自主防災会、田原市、中学校の連携を構築することができた。このように、地域のガバナンス構造を改善、または改善に向けた糸口を見つけることができた。

(注)2009年12月31日時点でのデータ。田原市HPより引用。

キーワード:防災マップ, e コミマップ, GIS, 田原市, リスクコミュニケーション, リスクガバナンス

Keywords: disaster prevention map, e-community map, GIS, Tahara city, risk communication, risk governance